

美しい錦江湾を明日の世代へ 鹿児島湾ブルー計画の概要



クリンちゃん



鹿児島湾ブルー計画の
イメージキャラクター



鹿児島湾（錦江湾）について

鹿児島湾は、別名「錦江湾」ともよばれ、湾の中央にそびえる桜島とともに、古くから鹿児島のシンボルとして、また、県民の憩いの場として親しまれています。



人口・面積

鹿児島湾の流域人口は約85万人で、県人口の約半数を占めています。流域面積は1,850km²で、県本土の約27%を占めています。

霧島錦江湾国立公園

湾の中には、干潟や藻場、サンゴが生息する優れた自然の海域があり、桜島周辺や湾奥部、佐多岬周辺が海域公園地区に指定されています。

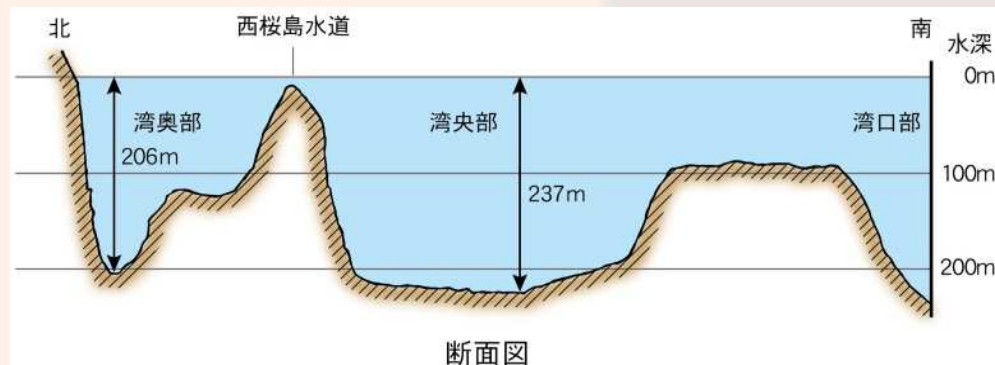


海洋性レクリエーション

湾域全体で磯釣りや船釣りなど多くの人が楽しんでいます。また、ヨットやウインドサーフィンにも適しています。

地 形

- 南北約80km、東西約20kmの細長く入りくんだ内湾です。
- 最大水深は、湾奥（桜島以北）で206m、湾央（桜島の南部）で237mあります。
- 湾奥部と湾央部はすり鉢のような形をしているため、湾内と外海の海水の交換が悪く、水質が悪くなりやすい性質を持っています。



干潟（ひがた）

湾奥の思川や天降川などの河口を中心に干潟があり、潮干狩りなどに多くの人が訪れています。また、干潟には、多様な生き物が棲んでいて、鹿児島湾の浄化の役割を担っています。



たぎり

湾奥の海底には「たぎり」と呼ばれる火山性ガスが吹き出る場所があり、チューブワーム「サツマハオリムシ」が生息しています。

海面養殖

ブリやカンパチなどの養殖が行われており、国内有数の産地となっています。



海水浴場

湾域には10か所の海水浴場があり、毎年多くの人が利用しています。ビーチバレーやビーチサッカーなどのスポーツも行われています。



生き物

マダイ、ヒラメ、カサゴ、キビナゴ、アオリイカ、マダコなどの魚介類やイルカも棲んでいます。また、これらの生き物の産卵・生育の場ともなっています。





鹿児島湾ブルー計画とは

鹿児島湾ブルー計画は、『美しい錦江湾を明日の世代へ』を基本理念に、鹿児島湾の良好な水質を保つとともに、人々が憩い親しむきれいな水辺を保全するため、将来にわたって確保されるべき鹿児島湾の環境保全目標を定め、それを達成維持するための総合的な方策を示したものです。

環境保全目標

●水質保全目標

マダイやブリ、ワカメなどの多様な魚介類が安定して漁獲され、自然観察に適した水質を目標としています。

項 目	水質保全目標
C O D	2 mg/L以下
窒 素	0.3 mg/L以下
り ん	0.03mg/L以下

●水辺環境の保安全管理目標

海水浴や潮干狩り、磯遊びなど県民に親しまれている海岸や浄化機能の高い干潟などが、良好な状況で保安全管理されていることを目標としています。

また、海水浴場については、水質の目標を定めています。

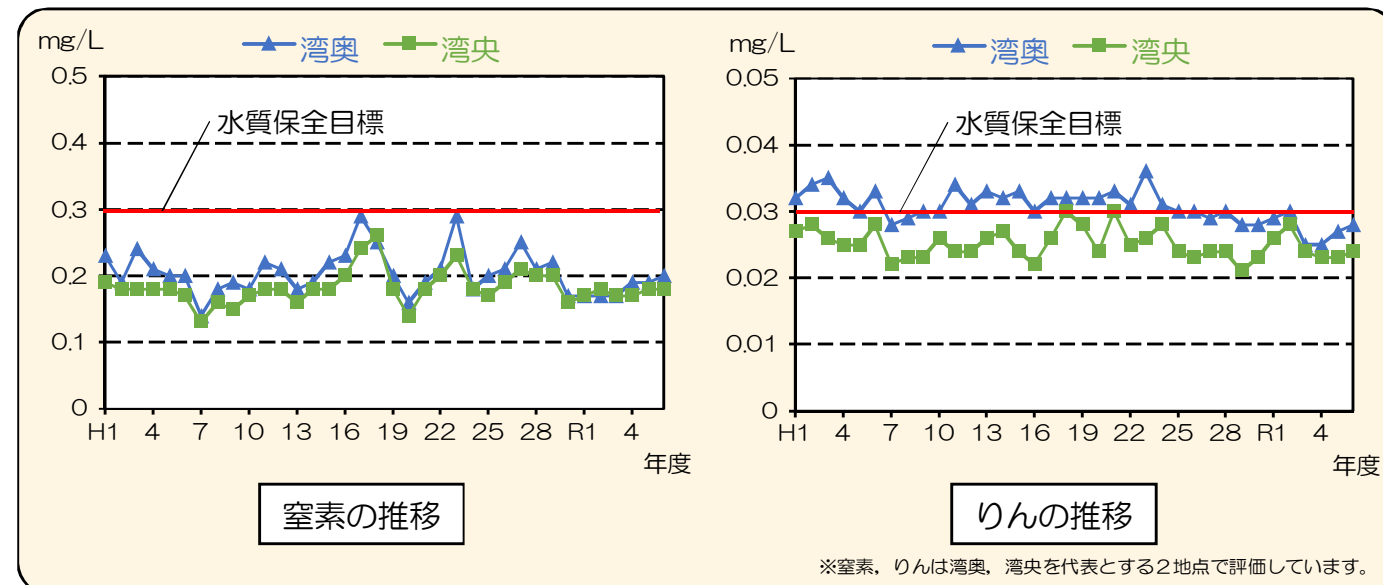
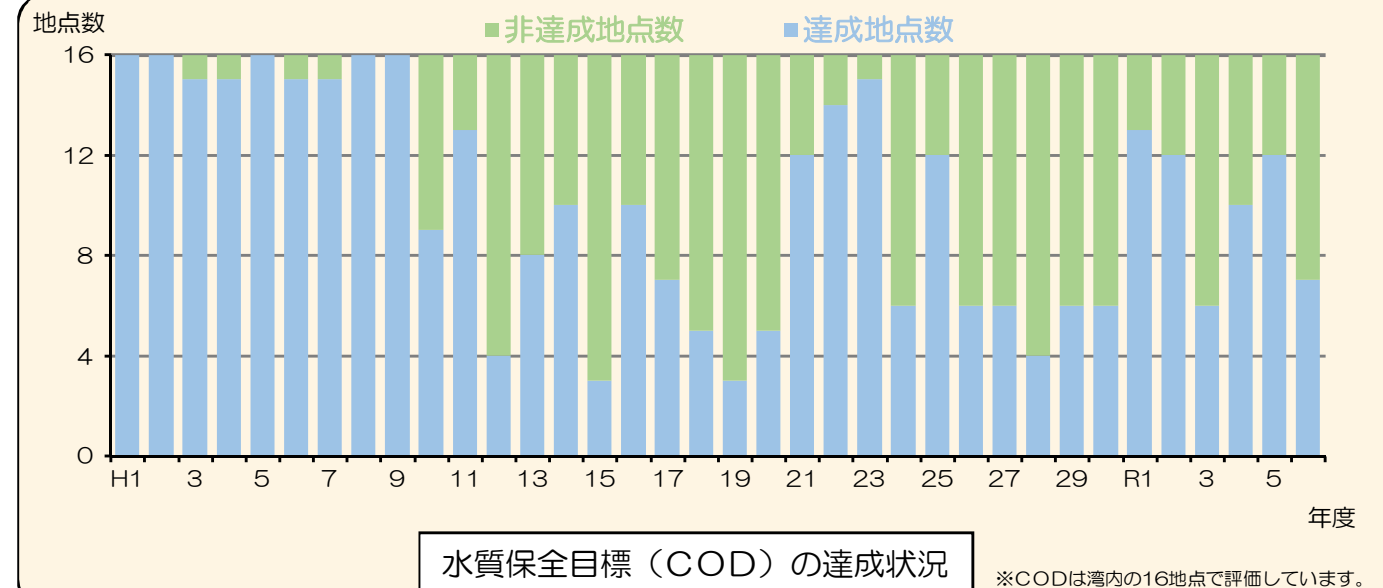
項 目	水質保全目標
ふん便性大腸菌群数	100個/100mL以下
油膜の有無	油膜が認められない
C O D	2mg/L以下
透明度	全透

鹿児島湾集水域



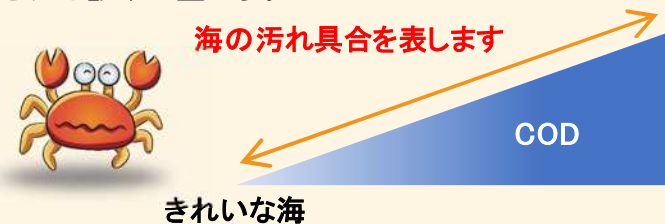
鹿児島湾の水質

鹿児島湾の水質は、平成10年度以降、海水温の上昇に伴う植物プランクトンの増殖などの影響を受け、CODの水質保全目標を超える地点がありますが、近年は概ね良好な状況で推移しています。



COD（化学的酸素要求量）とは・・・

水中に溶けている有機物（汚濁物質）を薬品（過マンガン酸カリウム）で化学的に分解するときに消費される酸素の量です。



窒素、りんとは・・・

水中に溶けている栄養素の指標です。生き物に不可欠なものですが、量が多すぎると、プランクトンの大量発生（赤潮）を引き起こします。



計画の対象地域

鹿児島湾の集水域にある6市2町（鹿児島市、鹿屋市、指宿市、垂水市、霧島市、始良市、錦江町、南大隅町）です。



美しい錦江湾を明日の世代に引き継ぐためには・・・



●生活排水対策

- ・下水道への接続や合併浄化槽の設置
- ・実践活動を促進するための普及活動

●工場・事業場排水対策

- ・工場・事業場からの排出水の監視指導の強化

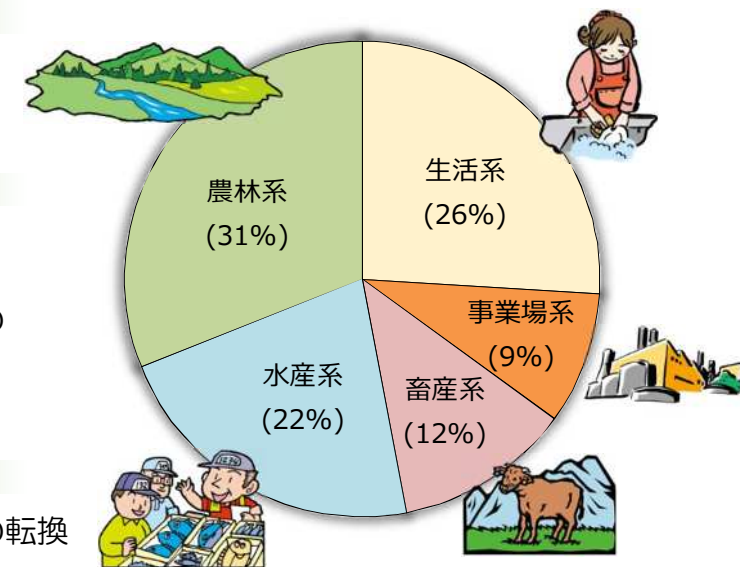
●農畜産業対策

- ・化学肥料・農薬等の効果的な利用
- ・健全な土づくりと適正施肥
- ・家畜排せつ物の適正処理、有機質資源としての有効的な活用

●水産養殖業対策

- ・環境への負荷の少ない餌・飼料や給餌方法への転換
- ・放養密度や施設配置などの適正化
- ・藻場造成、海藻養殖の促進

汚濁物質（COD）の発生源



私たち一人ひとりができること

各家庭でできる生活排水対策の実践活動例



- ・食事は「食べ残さない」、「作りすぎない」を心がける。
- ・汚れのひどい食器は拭き取ってから洗う。



- ・残った油は古新聞などにすわて、燃えるごみとして処理する。



- ・水切り袋を利用して、野菜の切りくずなど細かいごみを流さないようにする。



- ・洗剤は使用方法や注意事項をよく確認し、適量を使用する。



- ・お風呂の残り湯は洗濯に利用する。



- ・排水溝の髪の毛などはこまめに取りのぞく。

ごみ・空き缶などの投げ捨てる防止



一人ひとりがごみや空き缶などを持ち帰り、ふるさとの海や川を大切にしましょう。

海岸清掃の実施



プラスチック、ビニールなどは自然の力では分解できないので、海辺の生き物に影響を及ぼします。
海岸や河川の清掃活動には積極的に参加しましょう。

釣り人等のマナー向上



釣りを楽しんだ後は、ビニール袋、エサの残りなどは持ち帰り、釣り場を清掃してから帰りましょう。
釣り人自らが海や川を守るよう心がけましょう。

海や川に親しむ



美しく豊かな鹿児島湾は県民の癒しの場であり、海水浴や潮干狩りなどのレクリエーションの場ともなっています。
海辺や水辺で自然が与えてくれる楽しみましょう。



計画の推進

計画の推進体制

計画を効果的に推進するためには、県、関係市町をはじめ、事業者や住民一人ひとりが計画の趣旨を理解し、一体となって、鹿児島湾の環境保全活動に取り組むことが大切です。

総合的な環境保全対策の推進体制

県庁内

地域水質環境管理
計画推進本部

連携

県、関係市町、関係団体、住民団体

鹿児島湾水質保全
推進協議会

普及啓発

湾域住民、事業者、関係団体等の十分な理解と主体的な実践活動を促進するため、水質調査体験、研修会、パンフレット等による啓発活動に取り組んでいます。



『河川の生き物観察会』



『環境研修会』



『鹿児島湾ブルー計画啓発石碑』



『錦江湾クリーンアップ作戦』

県のホームページでは鹿児島湾ブルー計画や錦江湾に係るイベントの情報を掲載しています。

■鹿児島湾ブルー計画の“ブルー”（BLUE）とは？

『青い海』のイメージと次の願いを込めています。

Bautiful (美しい)

Lively (生き生きとした)

Useful (活用される)

Environment (環境)

■鹿児島湾ブルー計画ホームページ

<https://www.pref.kagoshima.jp/ad05/kurashikankyo/kankyo/suishitu/keikaku/blue.html>



問い合わせ先

鹿児島県 環境林務部 環境保全課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL : 099-286-2624 FAX : 099-286-5548

E-mail : emkanri@pref.kagoshima.lg.jp